

# 平成30年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 滝島 知樹

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年5月期第1四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成29年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第1四半期	8,546	0.3	212	85.8	196	318.3	366	
29年5月期第1四半期	8,520	21.0	114	127.4	46	64.3	148	

(注) 包括利益 30年5月期第1四半期 390百万円 ( %) 29年5月期第1四半期 144百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第1四半期	47.56	47.10
29年5月期第1四半期	19.24	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第1四半期	25,367	7,221	28.3
29年5月期	24,901	6,942	27.7

(参考) 自己資本 30年5月期第1四半期 7,187百万円 29年5月期 6,904百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		14.00	14.00
30年5月期					
30年5月期(予想)		0.00		14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,069	2.5	262		353		268		34.92
通期	35,285	1.1	333	54.9	213	123.2	39		5.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期1Q	7,700,500 株	29年5月期	7,700,500 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年5月期1Q	1 株	29年5月期	1 株
----------	-----	--------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期1Q	7,700,499 株	29年5月期1Q	7,699,747 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成29年8月31日）におけるわが国経済は、政府による経済政策は継続されるものの、日本経済とつながりのある海外諸国における不安定な情勢から、今後の企業業績への影響が注視されております。

小売業界におきましては、消費の下支えとなる訪日観光客は、依然として増加基調ではありますが、消費に至っては商品購入における消費単価は低下、観光地訪問などのサービス消費へ向かう傾向がより強く表れてきております。国内の個人消費につきましては雇用環境や所得環境の改善がみられるものの、景況感停滞、家計消費支出は減少し、節約志向・選別消費の傾向は今後も継続していく状況であります。

このような状況の下、当社グループは、「インターネット物販に対抗できる小売業づくり」を掲げ、お客様の期待に応え、選ばれる店舗をめざし、店舗ごとに独創的な空間を創出することにより、「新しい発見や」「買い物の楽しさ」をお客様に提供する事業活動を行ってまいりました。店舗運営における新規出店店舗については当社の魅力を再認識してもらえ、既存店舗については、店舗集客を目的とした情報発信として店舗外でのイベント開催、商品陳列方法の変更等を実施してまいりました。店舗運営におけるサポート体制といたしましては、新たな商品管理指標を用いた商品供給体制を構築してまいりました。また、あらたな収益源の確保に向けた外販活動、既存店商品のWEB販売にも継続的に取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に直営店2店を新規出店し、直営店6店、FC店2店を閉鎖しました。また、当社フード事業21店舗を連結対象外会社へ会社分割したことにより、当社グループの当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、直営店352店、FC店8店の合計360店となりました。

このような事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、客単価は対前年を下回りましたが、購買客数が対前年を上回ったことにより、8,546百万円と前年同四半期と比べ26百万円の増収（0.3%増）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んだことにより3,361百万円と144百万円減少（4.1%減）いたしました。営業利益は212百万円と前年同四半期と比べ98百万円増加（85.8%増）となりました。また、フード事業の会社分割により、事業分離における移転利益を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は366百万円（前年同四半期は148百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## ①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）、食品、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、食べるコトの楽しさを提案する「HOME COMING」「こととや」、他社とのコラボレーションによる飲食店「コラボカフェ」、アウトレット業態を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,350百万円と前年同四半期と比べ86百万円の増収（1.0%増）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、フード事業の事業分離に伴う売上総利益の減少があったため、売上総利益は3,285百万円と48百万円減少（1.5%減）いたしました。売上総利益は減少しましたが、フード事業の事業分離に伴い販売費及び一般管理費も減少したことにより、営業利益は241百万円と前年同四半期と比べ139百万円の増益（138.5%増）となりました。

店舗数につきましては直営店2店を新規出店し、直営店6店、FC店2店を閉鎖しました。また、当社フード事業21店舗を会社分割したことにより、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、直営店352店、FC店8店の合計360店となりました。

なお、上記記載の業態店舗の内、「ヴィレッジヴァンガードダイナー」「HOME COMING」「こととや」「コラボカフェ」につきましては、平成29年8月1日付けにて会社分割をいたしております。

## ②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、社外のクリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は216百万円と前年同四半期と比べ44百万円の減収（16.9%減）となりました。営業損失は28百万円（前年同四半期は1百万円の営業利益）となりました。

なお、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が3社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、平成28年3月末をもって店舗を閉店、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましても平成28年6月末をもって店舗を閉店、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても平成29年6月末をもって店舗を閉店いたしております。今後、順次、会社清算へ向けた手続きを進めていく予定であります。

## (2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、21,252百万円となりました。これは、商品が403百万円、売掛金が277百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、4,115百万円となりました。これは、建物及び構築物が138百万円、差入保証金が101百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、25,367百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.2%増加し、10,072百万円となりました。これは、買掛金が1,127百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、8,074百万円となりました。これは、長期借入金が756百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、18,146百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて278百万円増加し、7,221百万円となりました。これは、剰余金の配当107百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益366百万円により利益剰余金が258百万円増加したことなどによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、当第1四半期連結累計期間末には2,742百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は539百万円（前年同四半期は19百万円の収入）となりました。

これは、売上債権の増加額276百万円、たな卸資産の増加額520百万円があったものの、仕入債務の増加額1,127百万円があったためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は578百万円（前年同四半期は2,873百万円の支出）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出30百万円、無形固定資産の取得による支出33百万円、差入保証金の差入による支出42百万円があったものの、事業分離による収入647百万円があったためであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,103百万円（前連結会計年度は1,233百万円の収入）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が1,150百万円あったためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日発表の平成30年5月期の通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,728	2,742
売掛金	1,336	1,614
商品	16,284	16,688
繰延税金資産	10	29
その他	225	182
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	20,583	21,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,829	1,690
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	270	236
建設仮勘定	4	94
有形固定資産合計	2,104	2,021
無形固定資産		
ソフトウェア	226	214
ソフトウェア仮勘定	147	168
その他	1	1
無形固定資産合計	375	385
投資その他の資産		
長期前払費用	151	121
差入保証金	1,686	1,585
その他	0	1
投資その他の資産合計	1,838	1,709
固定資産合計	4,318	4,115
資産合計	24,901	25,367

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,731	4,858
短期借入金	190	280
1年内返済予定の長期借入金	3,618	3,375
未払金	656	555
未払法人税等	115	144
未払消費税等	54	99
株主優待引当金	50	42
賞与引当金	53	26
店舗閉鎖損失引当金	10	4
資産除去債務	40	7
その他	621	677
流動負債合計	9,142	10,072
固定負債		
長期借入金	6,662	5,906
長期未払金	238	262
役員退職慰労引当金	324	328
退職給付に係る負債	292	270
資産除去債務	1,225	1,203
その他	71	102
固定負債合計	8,815	8,074
負債合計	17,958	18,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,246	2,246
資本剰余金	2,223	2,223
利益剰余金	2,440	2,698
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,911	7,169
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17	18
退職給付に係る調整累計額	△24	—
その他の包括利益累計額合計	△6	18
新株予約権	38	33
純資産合計	6,942	7,221
負債純資産合計	24,901	25,367

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
売上高	8,520	8,546
売上原価	5,014	5,185
売上総利益	3,505	3,361
販売費及び一般管理費	3,391	3,148
営業利益	114	212
営業外収益		
仕入割引	10	0
業務受託料	22	19
その他	11	8
営業外収益合計	44	28
営業外費用		
営業外支払手数料	83	2
支払利息	25	32
為替差損	2	—
その他	0	10
営業外費用合計	111	45
経常利益	46	196
特別利益		
新株予約権戻入益	10	4
事業分離における移転利益	—	276
特別利益合計	10	281
特別損失		
固定資産除却損	4	8
減損損失	2	4
子会社株式売却損	150	—
特別損失合計	157	12
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△99	464
法人税等	48	98
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	366
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△148	366

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成28年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△148	366
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	2	24
その他の包括利益合計	3	24
四半期包括利益	△144	390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△144	390

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成28年6月1日 至平成28年8月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成29年6月1日 至平成29年8月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△99	464
減価償却費	119	101
事業分離における移転利益	—	△276
減損損失	2	4
子会社株式売却損益（△は益）	150	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	12	2
売上債権の増減額（△は増加）	△308	△276
たな卸資産の増減額（△は増加）	△411	△520
仕入債務の増減額（△は減少）	777	1,127
その他	△86	14
小計	155	641
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△25	△33
法人税等の支払額	△113	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	19	539
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△29	△30
無形固定資産の取得による支出	△44	△33
差入保証金の差入による支出	△9	△42
差入保証金の回収による収入	11	45
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△2,782	—
事業分離による収入	—	647
その他	△20	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,873	578
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△90	90
長期借入れによる収入	2,895	152
長期借入金の返済による支出	△1,353	△1,150
割賦債務の返済による支出	△38	△85
配当金の支払額	△108	△107
その他	△71	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,233	△1,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,625	14
現金及び現金同等物の期首残高	3,990	2,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,364	2,742

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年6月1日 至平成28年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	(株)ヴィレッジヴァ ンガードコーポレ ーション				
売上高					
外部顧客への売上高	8,263	256	8,520	—	8,520
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	3	3	△3	—
計	8,263	260	8,524	△3	8,520
セグメント利益又は損失 (△)	101	1	102	12	114

(注) 1. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成29年6月1日至平成29年8月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	(株)ヴィレッジヴァ ンガードコーポレ ーション				
売上高					
外部顧客への売上高	8,341	205	8,546	—	8,546
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9	10	19	△19	—
計	8,350	216	8,566	△19	8,546
セグメント利益又は損失 (△)	241	△28	212	0	212

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。